

包括システムによる日本ロールシャッハ学会 第22回大会

開催期日：2016年6月11日（土）～12日（日）

会 場：西南学院大学 四号館
福岡市早良区西新 6-2-92

大会テーマ

包括システムの魅力に出会う in 九州

大会長ご挨拶

包括システムによる日本ロールシャッハ学会（JRSC）第22回大会を九州で初めて開催させていただくことになりました。プログラムの概要を決定しましたので、お知らせいたします。

この福岡大会では、本学会が新たに創設した「包括システムによるロールシャッハ・テスト認定資格」制度のレベル1（基礎／CPCS-1）取得のための基礎研修「単位B. 包括システムのコーディングの基礎」を実施することになりました。その他にもご覧のとおり、大変充実したプログラムをご用意いたしております。

今まで学びたいと思いながら、身近に機会がなかった方も、すでに学会員で改めて基礎固めを狙う方も、ここ九州福岡で、ロールシャッハ（包括システム）の魅力に出会っていただき、学び合う機会としたいと思っております。

福岡までは、札幌から空路約2時間半、東京からは約2時間弱です。会場の西南学院大学は福岡市の中心部にあり、博多駅から地下鉄で約13分、福岡空港からでも約19分と利便性が良く、近くには福岡ソフトバンクの本拠地でもあるヤフオクドームや福岡タワー、福岡市博物館などのおでかけスポットもあります。また、福岡は玄界灘で獲れた新鮮でおいしい魚を味わうことができ、全国的にも有名な博多（長浜）ラーメンを屋台で食べるのも楽しみのひとつです。

6月はプロ野球やコンサート等で宿が取りにくくなることも予想されますので、来年6月11、12日は早目にご予定に入れていただき、ロールシャッハと福岡を満喫していただければ幸いです。

6月の福岡は太宰府の新緑も美しく、歴史ある西南学院大学で多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第22回大会長 金城正典

<プログラム>

6月11日(土)

1. 包括システムによるロールシャッハ・テスト認定資格レベル1取得のための基礎研修～

CPCS-1-B (コーディングの基礎編) (10:00～17:00)

講師 市川 京子 (東京武蔵野病院)、他

ロ・テスト★学会認定資格制度開始!

JRSCでは、包括システムによるロールシャッハ・テスト認定資格 (Certificate of Proficiency in the Rorschach Comprehensive System : CPCS/シーピクス) 制度を開始しました。基礎的な施行法とコーディングを習得していることを示すレベル1 (CPCS-1) を取得するために必要な単位 (A・B・C・D) のうち、今回は、単位B (コーディングの基礎) が開催されます。

単位Bは最後に試験があります。単位Bを取得しておくこと、CPCS-1の取得が楽になります。

詳しくは、「認定資格」欄をご覧ください。

*制度開始後、初めての大会、学び始める好機です。

学びの道筋や目標が明確になりました。

これを機会に学会員となり、認定資格の取得を目指してみませんか?

2. ワークショップ (10:00～17:00)

A : ロールシャッハの体験型～“つぶれ型”から回復する、とどまる、つぶれ型になる、とは

講師 中村 紀子

中村心理療法研究室、JRSC顧問、
国際ロールシャッハ及び投射法学会 (ISR) 会長

中村先生からのメッセージ:

JRSC 第20回大会で「つぶれ型」について初めて検討しました。このワークショップではさらに具体的にケースを通して、「つぶれ型」について理解を深めます。さまざまな臨床で困難をもたらすこれらのクライアントの理解を通して、ロールシャッハをこれから学ぶ方には、アセスメントの魅力が伝わり、経験者の方には、結果をレポートするのが困難だったこれらのケースの本質を理解する糸口となることを願っています。

B : 子の心親知らず ～子どものこころを可視化する～

講師 野田 昌道

(横浜家庭裁判所川崎支部、JRSC会長)

野田先生からのメッセージ：

事例検討を中心としたワークショップです。古今東西、「大人は判ってくれない」は映画や小説のテーマになってきました。かように思春期のころはときに複雑で、なかなかわかりにくいものです。その複雑さをロールシャッハのデータからどう理解し、さらにはその理解をいかに家族と共有し、援助につなげるのか、一緒に検討したいと思います。参加者としては次のような方々を想定しています。ロールシャッハ解釈のスキルアップを目指している（初級から中級へ！）。思春期青年期の事例を扱うことが多い。家族援助にロールシャッハを生かしたいと思っている。皆さまの能動的な関与を期待しています。

3. 特別公開講演（無料）（17:15～18:15）

演題：表現の成り立ちと表現の読み取り～箱庭、事例研究、もしかしてロールシャッハ

講師 安部 計彦

（西南学院大学教授、大会顧問）

講師の安部氏は虐待問題に造詣が深く、全国を飛び回って活躍中ですが、児童相談所心理職としての長い経験もお持ちです。児童相談所在職中は、特に描画テスト、箱庭療法のキレのある読み取りで知られ、職域を越えた勉強会を主催され、多くの仲間を育ててこられました。

今回のご講演では、当時から考察を深めてこられた「①作者の意識や無意識がどのように箱庭の中に現れているのか、②箱庭に表わされた作者の「こころ」全体を、どのように受け取り、読み解けばいいか」というテーマから発展し、「箱庭」のみならず「事例」全体の理解へと広がる考え方をお話しいただける予定です。

私たちが「ロールシャッハ反応」から読み解こうとしているものの意味を、「表現の成り立ち」として、さらに「表現の読み取り」という視点から、共に考える機会としたいと思います。

4. 懇親会（大学内）（18:30～20:30）

初日終了後に大学内の西南クロスプラザ2階にて、懇親会を開催します。全国からお集まりいただいた方々と、楽しいひとときをお過ごしいただきたいと思っています。九州の焼酎を味わって下さい。なお、準備の都合上、ご予約をお願いします。

6月12日（日）

5. 研究発表（9:30～11:30）

口頭発表（調査研究、事例研究等）及びポスター発表

6. 事例検討（13:30～16:30）

演題：多角的アセスメントによる理解とリテストの変化から学ぶ

討論者 中村 紀子（前出）、他

情報は随時更新します。